



平成29年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

平成28年7月29日

上場取引所 東

上場会社名 東洋水産株式会社

コード番号 2875 URL <http://www.maruchan.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 今村 将也

問合せ先責任者 (役職名) 経理部長 (氏名) 松本 千代子 TEL 03-3458-5246

四半期報告書提出予定日 平成28年8月12日 配当支払開始予定日 ー

四半期決算補足説明資料作成の有無： 有

四半期決算説明会開催の有無： 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成29年3月期第1四半期の連結業績（平成28年4月1日～平成28年6月30日）

(1) 連結経営成績（累計） (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
29年3月期第1四半期	91,073	△1.2	7,212	17.4	7,688	17.5	5,398	29.3
28年3月期第1四半期	92,136	7.1	6,144	28.8	6,542	25.8	4,175	27.1

(注) 包括利益 29年3月期第1四半期 △2,101百万円 (ー%) 28年3月期第1四半期 6,896百万円 (161.7%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
29年3月期第1四半期	52.86	ー
28年3月期第1四半期	40.89	ー

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
29年3月期第1四半期	334,492	260,953	74.8
28年3月期	345,396	266,200	74.0

(参考) 自己資本 29年3月期第1四半期 250,185百万円 28年3月期 255,429百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
28年3月期	ー	30.00	ー	30.00	60.00
29年3月期	ー				
29年3月期(予想)		30.00	ー	30.00	60.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無： 無

3. 平成29年3月期の連結業績予想（平成28年4月1日～平成29年3月31日）

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	191,500	1.8	12,800	2.3	13,300	1.9	9,700	17.0	94.98
通期	395,000	3.1	29,000	2.4	30,000	1.7	20,500	11.6	200.73

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無： 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）： 無
新規 一社 （社名）－、除外 一社 （社名）－

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用： 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(注) 詳細は、添付資料P.3「2. サマリー情報（注記事項）に関する事項 (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示」をご覧ください。

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	29年3月期1Q	110,881,044株	28年3月期	110,881,044株
② 期末自己株式数	29年3月期1Q	8,751,481株	28年3月期	8,751,393株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	29年3月期1Q	102,129,622株	28年3月期1Q	102,130,299株

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表に対するレビュー手続は終了していません。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P.3「1. 当四半期決算に関する定性的情報 (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
(4) 追加情報	3
3. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(セグメント情報等)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間におけるわが国経済は、雇用・所得環境の改善や各種政策の効果もあり、緩やかな回復基調が続いておりましたが、英国のEU離脱問題などの影響により急速に円高が進んだことで、企業業績や景況感が後退するなど、先行きの不透明感が高まっております。

このような状況の中、当社グループは「Smiles for All. すべては、笑顔のために。」という企業スローガンの下で「食を通じて社会に貢献する」「お客様に安全で安心な食品とサービスを提供する」ことを責務と考え取り組むとともに、厳しい販売競争に対応するため、より一層のコスト削減並びに積極的な営業活動を推進してまいりました。

この結果、当第1四半期連結累計期間の業績は、売上高は91,073百万円（前年同四半期比1.2%減）、営業利益は7,212百万円（前年同四半期比17.4%増）、経常利益は7,688百万円（前年同四半期比17.5%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益は5,398百万円（前年同四半期比29.3%増）となりました。

なお、当第1四半期連結累計期間の為替換算レートは、102.96円/米ドル（前第1四半期連結累計期間は、122.44円/米ドル）であります。

セグメントの業績を示すと、次のとおりであります。

水産食品事業は、コンビニエンスストア向けの販売が競争の激化により減少したこと、また採算性を重視した販売を優先したことから、売上高は7,884百万円（前年同四半期比5.9%減）となりました。セグメント利益は、主力の鮭鱒・魚卵を中心に原料価格が安定したことにより87百万円（前年同四半期はセグメント損失23百万円）となりました。

海外即席麺事業は、アメリカでは厳しい販売環境の中、量販店での特売や新商品の投入等積極的な販促活動を行いました。好調な雇用環境や賃金の増加による消費者心理は即席麺カテゴリーには追い風とならず縮小傾向が続いております。メキシコでは現地通貨安の進行により厳しい販売環境が続いておりますが、袋麺の拡販等により販売数量は増加しました。その結果、円高の影響もあり売上高は15,905百万円（前年同四半期比18.1%減）となりました。セグメント利益は、SNSやイベント参加を通じた積極的な宣伝活動による宣伝費の増加はありましたが、原材料価格の低下や物流コストの減少により2,592百万円（前年同四半期比3.0%増）となりました。

国内即席麺事業は、平成27年1月に実施した価格改定による市場環境変化の影響も一巡し、カップ麺では基幹商品である「赤いきつねうどん」「緑のためき天そば」を中心とした和風麺シリーズや「麺づくり」等は、好調に推移しました。また、「マルちゃん正麺 カップ」が好調に推移したほか、「ごつ盛り」を中心としたオープンブライス商品が引き続き堅調に推移したことにより、カップ麺全体で前年を上回りました。袋麺は、市場全体が厳しい環境の中、「マルちゃん正麺」シリーズで新フレーバーを投入するなど需要喚起に努めましたが、減収となりました。その結果、売上高は28,646百万円（前年同四半期比7.5%増）となりました。セグメント利益は、売上増に加え、動力費や物流コスト等が減少したことにより2,467百万円（前年同四半期比19.3%増）となりました。

低温食品事業は、生麺類では主力商品の「マルちゃん焼そば3人前」シリーズが好調に推移しましたが、季節商材の冷しラーメン類が減収となり、全体では前年並みとなりました。チルド・冷凍食品類では、主力商品のしゅうまいや枝豆類は堅調に推移しました。その結果、売上高は17,553百万円（前年同四半期比1.0%減）となりました。セグメント利益は、販促費の抑制や動力費減少により、1,163百万円（前年同四半期比5.1%増）となりました。

加工食品事業は、米飯は主力の無菌米飯及びレトルト米飯の積極的な販促活動により新規導入が増え、増収となりました。フリーズドライ製品は主力の5食入り袋スープを中心に、量販店等で好調に推移しております。その結果、売上高は4,904百万円（前年同四半期比10.7%増）、セグメント利益は188百万円（前年同四半期比26.0%増）となりました。

冷蔵事業は、平成28年3月に福岡アイランドシティ物流センターが稼働したことと、受託品取り扱いが好調に推移したことにより、売上高は4,231百万円（前年同四半期比5.1%増）となりました。セグメント利益は、福岡アイランドシティ物流センターの稼働にともない減価償却費が増加しましたが、売上増に加え、動力費等の経費削減が寄与し、497百万円（前年同四半期比15.9%増）となりました。

その他は、主に弁当・惣菜事業であります。売上高は11,947百万円（前年同四半期比3.7%増）、セグメント利益は393百万円（前年同四半期比403.4%増）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第1四半期連結会計期間末の財政状態は、前連結会計年度末と比べ総資産は10,904百万円減少し334,492百万円、純資産は5,246百万円減少し260,953百万円となりました。この主な変動要因は、以下のとおりであります。

資産は、主に建設仮勘定は増加しましたが、現金及び預金、受取手形及び売掛金、有価証券、建物及び構築物、機械装置及び運搬具が減少しました。負債は、主に未払費用、未払法人税等が減少しました。純資産は、主に利益剰余金は増加しましたが、為替換算調整勘定が減少しました。

この結果、自己資本比率は74.8%となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

第2四半期連結累計期間及び通期の連結業績予想に関する事項につきましては、当第1四半期連結累計期間の業績が想定していた範囲内で推移しているため、平成28年5月13日に発表しました見通しを変更しておりません。今後、何らかの変化がある場合には適切に開示してまいります。

2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

会計方針の変更

(平成28年度税制改正に係る減価償却方法の変更に関する実務上の取扱いの適用)

法人税法の改正に伴い、「平成28年度税制改正に係る減価償却方法の変更に関する実務上の取扱い」（実務対応報告第32号 平成28年6月17日）を当第1四半期連結会計期間に適用し、平成28年4月1日以後に取得した建物附属設備及び構築物に係る減価償却方法を定率法から定額法に変更しております。

なお、四半期連結財務諸表に与える影響額は軽微であります。

(4) 追加情報

(繰延税金資産の回収可能性に関する適用指針の適用)

「繰延税金資産の回収可能性に関する適用指針」（企業会計基準適用指針第26号 平成28年3月28日）を当第1四半期連結会計期間から適用しております。

3. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成28年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成28年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	73,564	68,311
受取手形及び売掛金	48,899	47,598
有価証券	39,000	36,500
商品及び製品	15,424	15,230
仕掛品	472	478
原材料及び貯蔵品	4,827	4,845
繰延税金資産	1,679	1,224
その他	3,711	3,026
貸倒引当金	△490	△494
流動資産合計	187,088	176,720
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	54,245	52,307
機械装置及び運搬具(純額)	25,130	23,855
土地	35,584	35,297
リース資産(純額)	3,069	3,002
建設仮勘定	5,716	9,084
その他(純額)	1,195	1,166
有形固定資産合計	124,940	124,713
無形固定資産		
その他	3,054	2,881
無形固定資産合計	3,054	2,881
投資その他の資産		
投資有価証券	28,105	27,875
繰延税金資産	1,273	1,395
退職給付に係る資産	65	67
その他	868	838
投資その他の資産合計	30,312	30,176
固定資産合計	158,308	157,771
資産合計	345,396	334,492

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成28年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成28年6月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	23,975	24,363
短期借入金	274	257
1年内返済予定の長期借入金	30	—
リース債務	216	218
未払費用	19,506	16,660
未払法人税等	3,515	1,013
繰延税金負債	2	2
役員賞与引当金	168	56
その他	2,800	2,688
流動負債合計	50,489	45,259
固定負債		
リース債務	3,958	3,928
繰延税金負債	4,211	3,882
役員退職慰労引当金	227	231
退職給付に係る負債	18,551	18,572
資産除去債務	315	315
その他	1,443	1,348
固定負債合計	28,707	28,278
負債合計	79,196	73,538
純資産の部		
株主資本		
資本金	18,969	18,969
資本剰余金	22,517	22,517
利益剰余金	213,567	215,902
自己株式	△8,225	△8,225
株主資本合計	246,830	249,164
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	7,806	7,468
繰延ヘッジ損益	△47	△91
為替換算調整勘定	3,218	△4,050
退職給付に係る調整累計額	△2,377	△2,304
その他の包括利益累計額合計	8,599	1,021
非支配株主持分	10,770	10,767
純資産合計	266,200	260,953
負債純資産合計	345,396	334,492

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第1四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年6月30日)
売上高	92,136	91,073
売上原価	59,433	56,652
売上総利益	32,702	34,421
販売費及び一般管理費	26,558	27,208
営業利益	6,144	7,212
営業外収益		
受取利息	93	159
受取配当金	197	215
持分法による投資利益	26	16
賃貸収入	90	84
雑収入	164	165
営業外収益合計	573	642
営業外費用		
支払利息	69	67
賃貸収入原価	21	15
為替差損	19	22
雑損失	66	61
営業外費用合計	176	166
経常利益	6,542	7,688
特別利益		
固定資産売却益	0	7
その他	0	—
特別利益合計	1	7
特別損失		
固定資産除売却損	36	17
投資有価証券評価損	—	1
関係会社株式評価損	22	—
その他	0	—
特別損失合計	59	18
税金等調整前四半期純利益	6,483	7,676
法人税、住民税及び事業税	1,850	1,874
法人税等調整額	323	291
法人税等合計	2,173	2,165
四半期純利益	4,310	5,511
非支配株主に帰属する四半期純利益	134	112
親会社株主に帰属する四半期純利益	4,175	5,398

(四半期連結包括利益計算書)
 (第1四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 平成27年4月1日 至 平成27年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 平成28年4月1日 至 平成28年6月30日)
四半期純利益	4,310	5,511
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	901	△381
繰延ヘッジ損益	△11	△44
為替換算調整勘定	1,641	△7,268
退職給付に係る調整額	43	79
持分法適用会社に対する持分相当額	11	2
その他の包括利益合計	2,586	△7,612
四半期包括利益	6,896	△2,101
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	6,679	△2,179
非支配株主に係る四半期包括利益	216	78

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第1四半期連結累計期間(自平成27年4月1日至平成27年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント							その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期 連結財務 諸表 計上額 (注) 3
	水産食品 事業	海外即席 麺事業	国内即席 麺事業	低温食品 事業	加工食品 事業	冷蔵事業	計				
売上高											
外部顧客への売上高	8,378	19,426	26,645	17,727	4,429	4,025	80,633	11,518	92,151	△14	92,136
セグメント間の内部 売上高又は振替高	135	—	0	—	0	264	400	120	520	△520	—
計	8,513	19,426	26,645	17,727	4,429	4,290	81,033	11,638	92,671	△534	92,136
セグメント利益 又は損失(△)	△23	2,518	2,067	1,107	149	429	6,249	78	6,327	△182	6,144

(注) 1 その他の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、主に弁当・惣菜事業であります。

2 外部顧客への売上高の調整額△14百万円は、報告セグメントと四半期連結財務諸表で取引高消去の方法が異なることにより発生した差異であります。セグメント利益又は損失の調整額△182百万円には、各報告セグメントに配分していない全社費用△235百万円、棚卸資産の調整額△27百万円及びその他の調整額80百万円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。その他の調整額は、主に海外子会社からのノウハウ料の相殺消去額であります。

3 セグメント利益又は損失は、四半期連結財務諸表の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

II 当第1四半期連結累計期間(自平成28年4月1日至平成28年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント							その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期 連結財務 諸表 計上額 (注) 3
	水産食品 事業	海外即席 麺事業	国内即席 麺事業	低温食品 事業	加工食品 事業	冷蔵事業	計				
売上高											
外部顧客への売上高	7,884	15,905	28,646	17,553	4,904	4,231	79,126	11,947	91,073	—	91,073
セグメント間の内部 売上高又は振替高	231	—	—	—	—	231	462	114	576	△576	—
計	8,115	15,905	28,646	17,553	4,904	4,462	79,588	12,061	91,650	△576	91,073
セグメント利益	87	2,592	2,467	1,163	188	497	6,997	393	7,390	△178	7,212

(注) 1 その他の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、主に弁当・惣菜事業であります。

2 セグメント利益の調整額△178百万円には、各報告セグメントに配分していない全社費用△319百万円、棚卸資産の調整額40百万円及びその他の調整額101百万円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。その他の調整額は、主に海外子会社からのノウハウ料の相殺消去額であります。

3 セグメント利益は、四半期連結財務諸表の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。